

美帆

スピードスケート女子で
今季、4種目で争うオール
ラウンドの世界選手権で総
合3位に入るなど自覚まし
い活躍を見せた高木美帆
(日体大一帶南商高出)が
19日、明治北海道十勝才
バルでのジュニア選手指導
のイベントに参加し、取材
に応じた。

今シーズンを振り返り、
来年の平昌五輪に向けて女
子団体追い抜き(チームパ
ル)での「金メダル
をしつかり取る」などと抱
負を語った。

(松村智裕)



平昌五輪での「メダルを」と来季の抱負を語る高木美帆（新井拓海撮影）

—ジュニア選手を指導し
た感想は。
普段なかなか小学生の子
が多い。講師というよ
り、

「皆さんの夢は私の夢」

—ジュニア選手を見る機会はない
子どもたちと触れ合えて私
が、帯広だけあって上手な
が元気をもらい、初心に戻
る機会になった。

明けに体調を崩した期間が
あつたが、そこから巻き返
せた。調子が悪くなつた時
に(そこから調子を)上げ
られた経験は自分の財産に
なつた。

—中学生で出場したバン
クーバー五輪以降をどう振
り返るか。

多くの人に支えられ、全
てのことがプラスに働いて
いる。ソチ五輪の選考会で
落選した時は、周囲よりス
ケートへの覚悟が足りなか
つたと痛感し、自分を変え
たいと思った。それが私に
とって非常に重要なことだ
った。

—今季をどう感じている
か。
いい結果として報告でき
るような成績を残せたのは
良かった。冬季アジア大会
など帯広で開かれた大会の
おかげ。皆さんに感謝した
い。ただ、今の自分より上
の選手を追い抜くには、私
自身そのもののレベルを上
げないといけない。何かを
少し変えるぐらいでは届か
ないと肌で感じた。悔しい
というより、もっと追い掛
けたい気持ちになつた。

—4月から日体大の研究
室助手となり、帯広が練習
拠点になるが。
ナショナルチームの拠点
が帯広なので、それほど変
化はない。オーバルは氷が
張つていらない夏場でも練習
ができます。環境として充実して
いる。自分の住み慣れた場所
でストレスを感じることが
少ないのが利点。今季は年

—今後の夢は。
夢は自分にとつては先に
あるという思いが強い。目
標は、平昌五輪のチームパ
ルで金メダルをしつ
かり取ること。個人種目で
上にいる選手にも勝てるよ
う、意識や練習内容を日々
高めたい。温かく力強い応
援が私のスケートの原動
力。今度は私が元気や勇氣
を与えられる滑りを最高の
舞台で発揮したい。メダル
を皆さんに見て貰えるの
であれば、それが私の夢にな
るものかもしれない。